

「新生ワイズ起こし運動」活動報告書

2018年 9月 1日

会議名	第1回 中部ワイズ起こし運動実行委員会 議事録		
主催者	中部 名古屋、東海、南山、グランパス クラブ	報告者	荒川 (名古屋グランパス)
日時	2018年 8月 27日 (月) 20時 00分 ~21時 00分		
場所	名古屋YMCA本館 5F会議室		
出席者名	名古屋クラブ：深谷 聡会長、川本龍資、谷川 修 東海クラブ：池野輝昭会長、柴田洋治郎中部部長、長谷川和宏 南山クラブ：深尾俊雄次期中部部長、杉山弘時 グランパスクラブ：荒川恭次会長、三井秀和、服部庄三 名古屋YMCA：東田美保 計 12名 (参加者が多い場合は、部長・事業主任・会長・主査など役職者名と他何名でも可)		

会議の内容 (会議の形態、賛成・反対意見、それぞれの理由なども)

- ・ワイズメンズクラブ現状の課題等
 1. 新メンバー獲得が難しい状況である。終活状況となっている。
 2. ワイズメンの質の向上が必要。
 3. 若い会員の会費が一般会員と同様ではきつい。長続きしない。
 4. 新会員同士のクラブ間交流がない。情報交換がなされていない。
 5. ワイズメンズクラブの活動内容がわかりにくい。世間に説明しにくい。
- ・ワイズメンズクラブとYMCAとの関係
 1. リーダー、リーダーOB・OGとの繋がりができてきた。
 2. ワイズがYMCAのサポートクラブとして機能しつつある。
 3. 名古屋地区はYMCAを中心にワイズ活動を展開している。
 4. YMCAのネームバリューが大きい。
 5. 16委員会の見える化でワイズ個人が積極的に協働できるようにする。
 6. 名古屋地区はYMCAとの関係を中心にワイズ起こし運動を展開する。
- ・中部ワイズ起こし運動実行委員会組織について
 1. 委員長は柴田中部部長を選出
 2. 副委員長は谷川 (名古屋地) を選出。三重、金沢地区は別途選出

今後の取組み等決定事項 (保留事項や今後の課題、継続検討事項なども)

- 中部は名古屋地区、三重地区、金沢地区それぞれの地域の事情に合った活動を取り組むこととする。それぞれに副委員長を設置。全体会議はEMCフォーラム時に行う。

備考 (「新生ワイズ起こし運動」) のイメージ図、DVD活用状況など)

- 各クラブ毎に対応

報告者コメント

- 中部のワイズ起こし運動は、名古屋、三重、金沢の地域事情に分けて活動を行う。三重、金沢地区委員との協議により確定したい。